

放課後児童クラブなどの調査を開始

日本共産党議員団



稲田小学校で校長先生から説明を受けている様子

た。吉田学校教育課長や、こども課職員などから案内していただきました。稲田小学校では、職員研修があつて、児童が一斉下校する日でした。そのこともあつて、体育館内にある児童クラブの一室は、大勢の児童でぎゅうぎゅうの状態でした。この日が一番込み合っていたのかも知れません。児童のランドセルは室内には置ききれず、籠に入れて廊下に並べられています。体育館内で遊んでいる児童も元気いっぱい、楽しそうでした。学校側の説明では、狭い空間を広げるためにどうするかも考えているとのこと、そう遅くない時期に改善される見込みです。

「いなだこどもの家」は二階建て、室内運動場があり、畳の部屋もあります。主に15歳以下の子どもたちの遊び場として、活用されています。ここでは、数人の子どもたちが滑り台やゲームなどを楽しんでいます。こちらは空間的には余裕があり、児童はのびのびと遊んでいました。

市民の方から、「小学生たちが放課後を過ごす場を見てほしい」との要請があり、日本共産党議員団は、2日、調査をスタートさせました。今後、市内に47カ所ある放課後児童クラブ、市内に37カ所ある「こどもの家」のいくつかなどを調査する予定です。

日本共産党議員団では、今後、他の放課後児童クラブなども調べた上で、

北陸研究センターを視察、懇談

日本共産党議員団は、1日、市内稲田にある中央農業総合研究センター北陸研究センターを訪問し、幹部のみなさんと懇談しました。

今回の訪問では、同センターが取り組んでいる研究を紹介していただくとともに、米の品質低下問題、干ばつ対策などについて、意見を交換しました。

懇談では、最近若い人の間で少し硬めの米が求められてきているという指摘や、耕うん同時畝立播種技術、GPSを活用した施肥の紹介など、興味深いことが次々と出されました。上越の米の等級が相対的に下がっている問題については総合的な検討が必要ですが、上越で“売り”にしている5割減減のやり方も含めて検討している点には感心させられました。

また、産学協同が進む中で、ビール用の大麦を使った焼酎の開発に新潟薬科大学が取り組み、近々、大学名や麦の種類名が入った焼酎が世に出るとの情報も教えてもらいました。旧吉川高校の「若泉」のように話題となるかも知れません。

(写真は上から、センター長などによる概要の説明、いくつかの稲の品種がずらりと並んだ圃場、汎用コンバインに試乗する橋爪議員)



日本共産党上越市議員団ニュース

No. 418 2014年7月13日

- 連絡先
 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)

上野議員、平良木議員は15日から17日まで、橋爪議員は16日から19日まで、それぞれ常任委員会の視察などのため留守にします。急用の方は、携帯電話へご連絡くださいますようお願いいたします。



階段の踊り場からお手玉を投げての遊びに注目

課題を整理し、議会質問などに反映していきたいと思っておりますので、ご意見をお寄せください。

※ 放課後児童クラブは、就労等により昼間保護者が不在となる家庭の小学生が対象で、有料(一般利用は月額4000円)です。児童の遊び・勉強などの支援の他、保護者の就労支援の意味合いもあります。一方、「こどもの家」は、放課後の時間帯、保護者が家にいる世帯の児童などが利用しています。こちらは無料です。